



Basilisk ER7

self healing concrete

液体補修システム ER7

バジリスクER7とは

バジリスクER7は、バクテリアの代謝活動を利用した液状のひび割れ補修剤です。ひび割れ内部に深く浸透し、内部からひび割れを修復していきます。



小分けのボトルタイプもあります

A剤・B剤の2種類の粉体材料を、温水で溶解して使用します。

製品の特徴

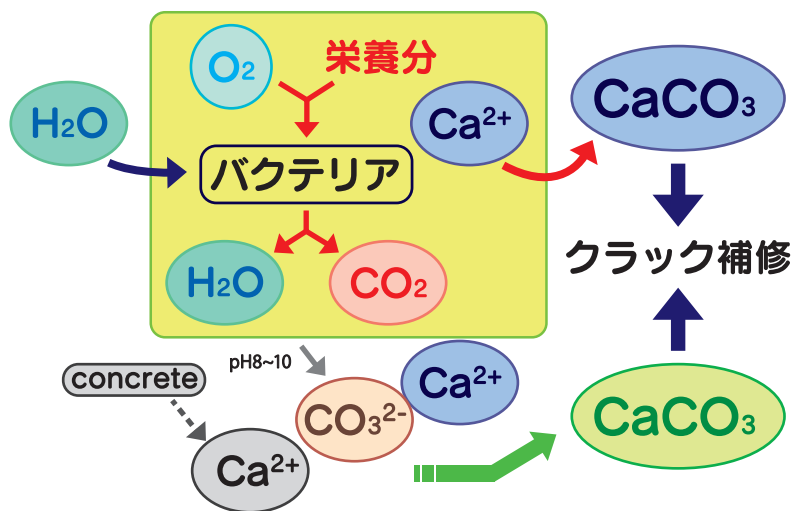
- ◆1回の塗布で0.2～0.3mmのひび割れを、2-3回の塗布で最大0.6mmのひび割れを修復することができる。
- ◆ひび割れや細孔内部に深く浸透する。
- ◆凍害に対する耐久性を向上させる。

製品性状

品 目	ER7・A剤	ER7・B剤
成 分	バクテリア・乳酸カルシウム	反応促進剤
荷 姿	0.9kg/缶	0.5kg/缶
溶解後の量	約6ℓ	約3ℓ
標準塗布量	0.15ℓ/㎡	0.075ℓ/㎡

修復メカニズム

- ◆炭酸カルシウムがひび割れを修復



- ◆バクテリアは、A剤に含まれる栄養分と酸素を消費し、炭酸カルシウムを生成する。生成した炭酸カルシウムは、ひび割れや細孔内部に沈積して内部を埋めていく。
- ◆バクテリアの代謝活動で発生した二酸化炭素は、B剤に含まれるカルシウム分やコンクリート中の未水和セメントと結合して炭酸カルシウムになり、ひび割れや細孔内部を埋めていく。

施工方法



噴霧器による施工



ローラー、ハケによる施工



私たち高見澤は、2045年までに温室効果ガスのサプライチェーン排出量を実質ゼロにする“NET ZERO 2045”にコミットメントします。

お問い合わせ



株式会社高見澤 インフラセグメント本部

〒381-0001 長野県長野市赤沼柳橋 2276-2

☎ 026-296-9003 (8:30～17:30 土日祝除く)

Basilisk ER7

施工手順

1. ひび割れの清掃



ER7の浸透を良くするために、ひび割れ部分やコンクリート表面を清掃し、乾燥させます。

2. 溶解

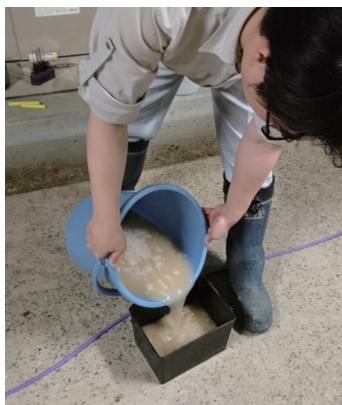


A剤粉末とB剤粉末を、それぞれ別のバケツ内でハンドミキサーを用いて3分間攪拌し溶解します。

3. 投入



噴霧器、ローラーで施工する場合、A剤・B剤を別々の容器に投入します。



4. 施工



A剤をひび割れに十分に浸透させるため、数回塗り重ねます。十分に浸透しましたら、B剤を軽く噴霧します。白いゲルができましたらその日の施工は完了です。気温が高い場合は、乾燥させないようにシート等で養生します。

5. 清掃



コンクリート表面に残ったゲルは、約24時間後にスクレーパーやタワシで取り除きます。

施工動画はこちら！

なるほど！



かんたん！



自己治癒コンクリートマスコットキャラクター バジ

注意事項

- ・降雨、降雪時や低温・凍結環境下の施工はお避け下さい。
- ・施工部分のひび割れやコンクリート面は乾燥状態にして下さい。
- ・A剤とB剤が接触するとゲルを生じるため、A剤を攪拌したミキサーはきれいに清掃してからB剤の攪拌にご使用下さい。
- ・A剤とB剤は別々の噴霧器をご使用下さい。
- ・ゲルの清掃の際は水のみで洗い流し、洗剤や殺菌剤は使用しないで下さい。